

渋谷区文化総合センター大和田が完成しました。



北側外観夜景



渋谷駅上空から



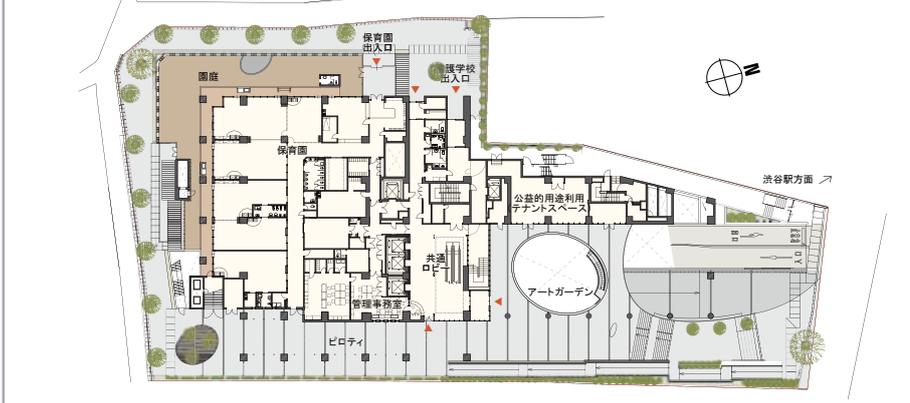
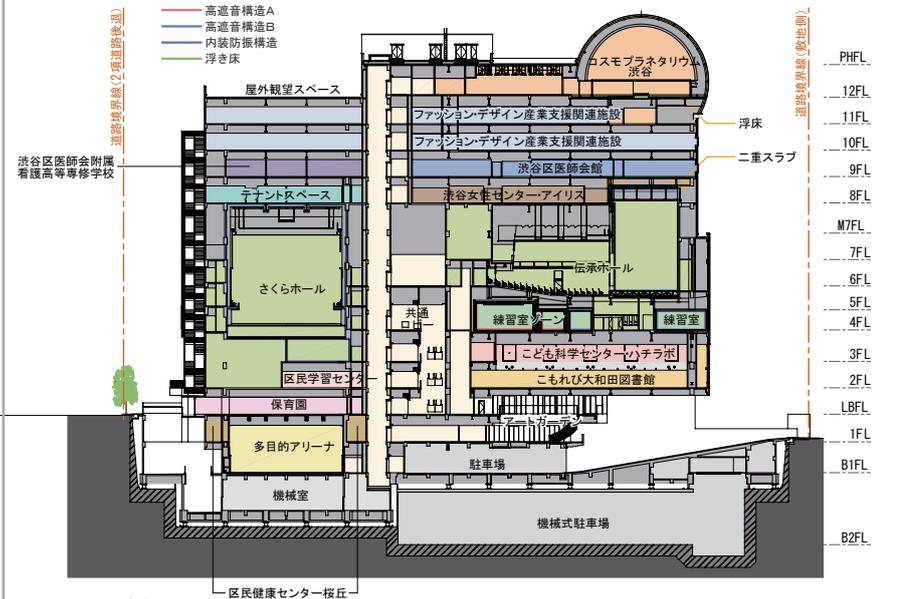
アートガーデン



さくらホール

SITE/SECTION

S:1/1200



CONCEPT

新たな文化・教育・福祉・健康の拠点
 渋谷区文化総合センター大和田は、学校統廃合により廃校となった大和田小学校の跡地に「渋谷の新たな文化・教育・福祉・健康の拠点」を基本方針とした区最大規模の複合施設である。区民利用を主としながらも広く人を集める施設として構想された。各施設の多様かつ高度な機能を成立させた上で、交流や施設間連携を促す空間形成をめざしている。10以上の用途を複合させるため、低層部に地域性の強い身近な施設、高層部に目的性の高い施設をあてる断面構成とし、吹抜けのある縦動線を伴った共通ロビーを中心に計画することで、複合のメリットが生まれ相乗効果が誘発されることを意図した。

DATA

| | |
|-------|-------------------------------|
| 敷地面積 | : 4,967.43㎡ |
| 建築面積 | : 3,020.27㎡ |
| 延床面積 | : 27,402.60㎡ |
| 建ぺい率 | : 60.80%(許容100%) |
| 容積率 | : 499.70%(許容500%) |
| 構造・規模 | : SRC造一部S造、免震構造 地下3階、地上12階 |
| 最高高さ | : 65.92m |
| 軒高 | : 57.97m |
| 階高 | : 4.2m(一般階) |
| 天井高さ | : 2.70m、2.40m |
| 主なスパン | : 6.4m×6.4m |
| 設計期間 | : 2006.01～2007.02 |
| 工事期間 | : 2007.11～2010.06 |

TOPICS

坂の街・渋谷に憩いのスペースを提供
 計画の特徴になっているのは、低層部の施設と密接に関連しながら坂の街・渋谷にある計画地の高低差を利用したオープンスペースである。桜をはじめとする既存樹の保存やアートワークの設置、それらを活かした照明計画やサイン計画等で、オフィスや住宅が集積する地域に憩いのスペースを提供している。
 また、屋上・壁面緑化の実施や太陽光発電システムの導入、ホール客席における新規開発の床吹空調導入など、環境施策も積極的に行い、免震構造の採用等の信頼性向上策とあわせて施設の維持管理費低減～ロングライフ化に繋げている。



楕円の吹抜にあるオブジェ

▶ <http://www.nissoken.co.jp>